NO.29
『のど飴は成分で選ぶ？』

お薬立ちmemo



のど飴は成分で選ぶ？

―知っておきたい成分とその効果

　のどが痛い、イガイガする、乾燥してつらい……そんなときに手軽に利用できる「のど飴」。

　実は、のど飴にはさまざまな成分が含まれており、期待される効果も異なります。

今回は、代表的な成分とその特徴をご紹介します。



NO.29
『のど飴は成分で選ぶ？』

お薬立ちmemo（やく）



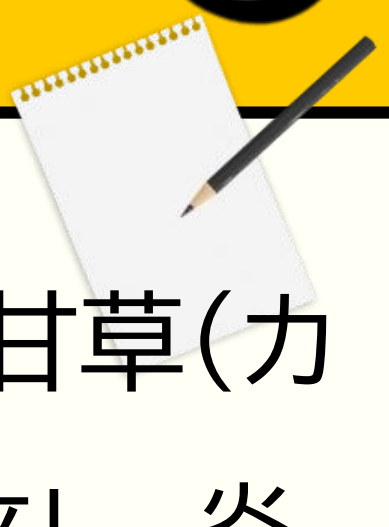
まず、メントールは、スーッとした清涼感を与え、のどの不快感を和らげる目的で使用されます。メントール自体がのどの炎症を治す薬というわけではありませんが、すっきりした感覚を得たい場合に適しています。

はちみつや水あめなどを使用した食品タイプののど飴は、なめることで唾液の分泌を促し、乾燥したのどを潤すことが主な役割です。薬の成分が入っていなくても、のどの乾燥によるイガイガ感を和らげるのに役立ちます。



NO.29
『のど飴は成分で選ぶ？』

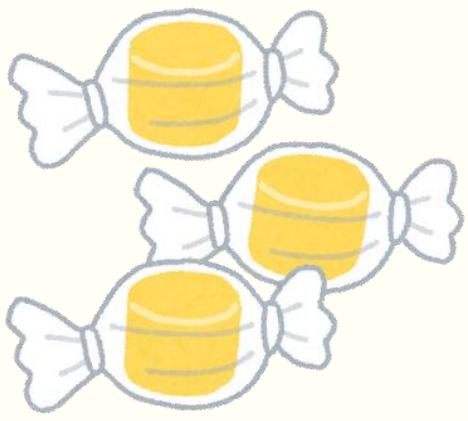
お薬立ちmemo



<u>グリチルリチン酸二カリウム</u>は、甘草(カンゾウ)などに含まれる成分に由来し、炎症を抑える目的で医薬品などに配合されています。のどのあれや炎症による不快感などに用いられます。

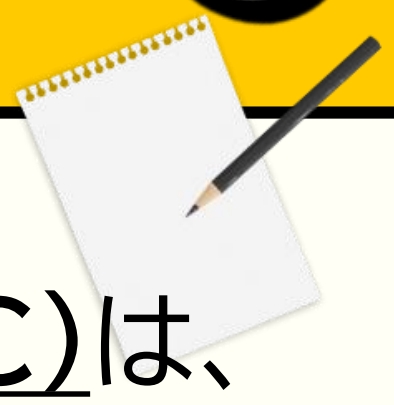
　また、<u>アズレンスルホン酸ナトリウム</u>は、炎症を抑える作用をもつ成分で、口の中やのどの炎症を伴う症状に用いられることがあります。

商品によって含まれる成分や効能・効果が異なるため、パッケージの表示を確認しましょう。



NO.29
『のど飴は成分で選ぶ？』

お薬立ちmemo



セチルピリジニウム塩化物(CPC)は、口腔内の細菌などに対する殺菌作用をもつ成分です。のどの炎症に伴うのどのあれや不快感などを改善する目的で、医薬品のトローチなどに使用されています。

ここで注意したいのが、**「殺菌成分が入っている＝風邪や感染症を治療できる」わけではない**ということです。のど飴やトローチは、基本的には症状を和らげるためのものです。また、医薬品の場合は用法・用量を守り、漫然と使い続けないことも大切です。



NO.29
『のど飴は成分で選ぶ？』

お薬立ちmemo



のど飴を選ぶときは、「スッキリしたい」「乾燥が気になる」「のどの炎症が気になる」など、自分の症状や目的に合わせて成分を確認してみましょう。

　高熱、強い痛み、息苦しさ、飲み込みにくさがある場合や、症状が長引く場合には、のど飴だけで済ませず医療機関の受診をおすすめします。

